

中村欣一郎市長の

山椒は小粒でも…

Vol.7

酸っぱいのは好き？



冬の訪れとともにミカンの季節になりましたね。

スーパーや直売所などで山と盛られているのを見かけるようになりました。主要な産地のほとんどが太平洋や瀬戸内に面した沿岸で、ミカン御三家ともよばれる和歌山・愛媛・静岡を先頭に三重県も全国で上位10位以内を競っています。また、「鳥羽市の木」

ヤマトタチバナがミカン科の植物であることから、市民の中にはミカンに一家言持っているかたも多いのではないかと思います。



ところで、みなさんがミカンを選ぶ時の基準はなんですか。私は甘いにこしたことはないのですが、まず酸っぱさ（酸味）がないとダメです。ちなみに私はイチゴに關しても酸味がないと手を付けません。

甘いだけのものはあまり好みではありません。

ミカン売り場で「酸っぱいのはないかなあ」と大真面目に尋ねると、げんげんな顔をされますが店の人に見えらるの冷やかしの客に見えるのでしよう。「このミカンとあっちのミカンはどっちが酸っぱいの？」などと聞くと、ムスツとして「うちのミカンはみんな甘いわっ！」と言いつ返されたりします。

いろんな場面で「酸っぱいミカン」「酸っぱいミカン」と言っているの、今ではミカンはもとより、夏ミカン、八朔などの「酸っぱい出来

のもの私のところへ集まってくるようになりました。

「酸っぱい」というと誤解をまねきかねませんが、甘さの中にもしっかりと酸味のあるミカンを、どうして誰も作らないのだろうというのが私の数年来の疑問です。酸味のあるミカン好きは、私以外にも世の中には一定以上のファンがいると思います。

皆が皆、甘いミカンづくりに励んで過当競争をするより、レアなファン向けにターゲットを絞り、狭い客層を独占してはと思うのですがどうでしょう。

観光面で考えると、全国有数のメジャーな見どころがあり、なおその上に酸味のきいたレアなポイントが各所にあるのも鳥羽の強味ではないでしょうか。



「ご存知ですか？ 人権週間」



市民課人権・生活係
☎ 1411

毎月第3火曜日午後1時30分から、人権擁護委員による人権相談を開設しています。いじめや職場でのハラスメントなどでお悩みのかたは、気軽に相談してください。相談は無料で、秘密は守られます。

人権擁護委員（敬称略）

山本英子・久保正・小中ちよう・上井千春・濱田博文・大山紀子・木下雅博

「人権作品展特選作品の紹介」

身近にある人権について考えてもらうために、市内の小中学生から人権作品の募集を行いました。

小学生89点、中学生69点の応募があり、審査の結果次の2点が特選となりました。

応募された全ての作品は、鳥羽ショッピングプラザハロー2階・催事場にて、12月7日(木)まで展示しています。

「人権擁護委員の紹介」

人権擁護委員は、法務大臣から委嘱された民間のかたがたです。人権相談をはじめ、さまざまな地域で啓発活動を行っています。



鳥羽小学校6年 山口叶太 さん



長岡中学校3年 中村水晶さん